

付録1 スクリーニング調査 調査票

当アンケートでは「[お住まいの郵便番号](#)」・「[世帯年収](#)」について
お伺いする箇所が含まれております。

本件趣旨にご同意くださる方は、ご回答をお願いいたします。
回答をしたくないと判断された場合はお手数ですが、
ブラウザを閉じて、アンケートを終了してください。

なお、当アンケートにより取得した回答結果につきましては、
特定の個人が識別できないよう処理し、市場の実態把握のために活用させていただきます。

Q1

あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

☒ 単一回答 ☒ 必須回答

-- ▾

Q2

あなたのお住まいの郵便番号をお答えください。

※郵便番号については、以下のURLにて検索することができます。
お分かりでない方は、検索いただいた上でご回答をお願いいたします。
<https://www.post.japanpost.jp/zipcode/>

☒ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

〒 -

Q3

あなたの婚姻状況をお答えください。

☒ 単一回答 ☒ 必須回答

- ① 未婚
- ② 既婚（離別・死別含む）

Q4

あなたは以下のどれにあてはまりますか。
世帯主との続柄について、お答えください。

☒ 単一回答 ☒ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

☐ ① 世帯主（本人）

☐ ② 世帯主の配偶者

表示条件：Q3=2

☐ ③ 上記以外

Q5

あなたの世帯の同居人数をお答えください。（あなたご自身も人数に含めてください。）

☒ 必須回答

人

Q6

あなたの職業をお答えください。

⓪ 単一回答

★ 必須回答

- ① 会社勤務（一般社員）
- ② 会社勤務（管理職）
- ③ 会社経営（経営者・役員）
- ④ 公務員・教職員・非営利団体職員
- ⑤ 派遣社員・契約社員
- ⑥ 自営業（商工サービス）
- ⑦ SOHO
- ⑧ 農林漁業
- ⑨ 専門職（弁護士・税理士等・医療関連）
- ⑩ パート・アルバイト
- ⑪ 専業主婦・主夫
- ⑫ 学生
- ⑬ 無職
- ⑭ その他の職業

Q7

あなたの世帯の年収（額面）を、お答えください。

⊙ 単一回答

★ 必須回答

- ☐ 300万円未満
- ☐ 300万～500万円未満
- ☐ 500万～700万円未満
- ☐ 700万～1,000万円未満
- ☐ 1,000万～1,500万円未満
- ☐ 1,500万～2,000万円未満
- ☐ 2,000万円以上
- ☐ わからない／答えたくない

Q8

ここからは、あなたのお住まいについて、お伺いします。

あなたの住んでいる住居建物の形態をお答えください。

ただし、あなたご自身または配偶者がオーナーとして所有している賃貸物件にお住まいの場合は、〈持ち家〉としてお答えください。

※複数の住居でお住まいの方は、最もお過ごしになる時間の長い住居について、お答えください。

※なお、選択肢内の各住居形態については、下記の説明をご覧ください。

▼ 画像をクリックしていただくと、拡大してご覧いただけます。 ▼

<住居形態について>

一戸建とは・・・一つの建物が1住宅であるもの

長屋建とは・・・二つ以上の住宅を一棟に建て連ねたもので、各住宅が壁を共通にし、それぞれ別々に外部への出入口を持っているもの。
いわゆる「デラッシュハウス」と呼ばれる住宅もここに含まれる。

共同住宅とは・・・一棟の中に二つ以上の住宅があり、廊下・階段などを共用しているものや二つ以上の住宅を重ねて建てたもの（マンション、アパート等）

① 単一回答

★ 必須回答

↓ 設問文を折りたたむ

<持ち家>

- ① 一戸建
- ② 長屋建
- ③ 共同住宅（マンション等）

<賃貸住宅>

- ④ 一戸建
- ⑤ 長屋建
- ⑥ 共同住宅（マンション等）

⑦ その他

Q9

あなたの住んでいる住居建物の主な構造をお答えください。

(2つ以上の構造から成る場合は、床面積の広い方の構造をお答えください。)

⓪ 単一回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

<木造>

- ① 在来工法
- ② 木質プレハブ造
- ③ ツーバイフォー、ツーバイシックス、ツーバイエイト（枠組壁工法）
- ④ 木造（詳細はわからない）

<非木造>

- ⑤ 鉄骨造、鉄骨プレハブ造
- ⑥ 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造
- ⑦ 非木造（詳細はわからない）
- ⑧ その他（コンクリートブロック造、レンガ造、石造など）
- ⑨ わからない

Q10

あなたの住んでいる住居建物の建築時期をお答えください。

Ⓐ 単一回答 ★ 必須回答

- ☐ 1960年以前（昭和35年以前）
- ☐ 1961～1970年（昭和36～45年）
- ☐ 1971～1980年（昭和46～55年）
- ☐ 1981～1990年（昭和56～平成2年）
- ☐ 1991～2000年（平成3～12年）
- ☐ 2001～2010年（平成13～22年）
- ☐ 2011年以降（平成23年以降）
- ☐ わからない

Q11

あなたのお住まい（住宅）の延べ床面積をお答えください。

Ⓐ 単一回答 ★ 必須回答

- ☐ ～50m²未満
- ☐ 50m²～100m²未満
- ☐ 100m²～150m²未満
- ☐ 150m²～200m²未満
- ☐ 200m²～
- ☐ わからない

回答条件：持ち家にお住まいの方（Q8=1-3）

Q12

ここからは、あなたのお宅の保険や共済の加入状況についてお伺いします。

あなたは、あなたのお宅の「**住居建物**」や「**家財**」に対する、保険や共済の加入状況をご存知ですか。

☒ 単一回答 ☒ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

☐ ① 知っている

☐ ② 知らない

回答条件：賃貸住宅にお住まいの方（Q8=4-6）

Q13

あなたは、あなたのお宅の「**家財**」に対する、保険や共済の加入状況をご存知ですか。

☒ 単一回答 ☒ 必須回答

☐ ① 知っている

☐ ② 知らない

回答条件：住居建物に対する保険や共済の加入状況を知っている方（Q12=1）

Q14

あなたのお宅では、「**住居建物**」に対する保険や共済に加入していますか。

該当する項目すべてをお選びください。

（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

＜損害保険＞ ※加入されている方は、以下から1つだけお選びください。

- ☐ 1 地震保険、火災保険の両方に加入し、更に地震被害の補償を拡張する特約にも加入
- ☐ 2 地震保険、火災保険の両方に加入（上記特約には未加入）
- ☐ 3 火災保険のみに加入

＜地震による被害を補償する共済＞ ※加入されている方は、あてはまるものをすべてお選びください。

- ☐ 4 J A 建物更生共済に加入
- ☐ 5 J F 生活総合共済「くらし」に加入
- ☐ 6 自然災害保障付火災共済、自然災害共済（全労災、自治労共済など）に加入
- ☐ 7 地震による被害を補償するその他の共済に加入

＜その他＞ ※「地震による被害を補償しない共済のみに加入」については、上記＜地震による被害を補償する共済＞の選択肢4～7のいずれも選択していない場合のみ、お選びいただけます。

- ☐ 8 地震補償付住宅を購入
- ☐ 9 地震補償付住宅ローンを契約
- ☐ 10 地震による被害を補償しない共済のみに加入（火災共済、風水害等給付金付火災共済等）
- ☐ 11 損害保険や共済には加入していない

回答条件：家財に対する保険や共済の加入状況を知っている方（Q12=1 or Q13=1）

Q15

あなたのお宅では、「家財」に対する保険や共済に加入していますか。

該当する項目すべてをお選びください。

（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答

★ 必須回答

↓ 設問文を折りたたむ

＜損害保険＞※加入されている方は、以下から1つだけお選びください。

- ☐ 1 地震保険、火災保険の両方に加入し、更に地震被害の補償を拡張する特約にも加入
- ☐ 2 地震保険、火災保険の両方に加入（上記特約には未加入）
- ☐ 3 火災保険のみに加入

＜地震による被害を補償する共済＞※加入されている方は、あてはまるものをすべてお選びください。

- ☐ 4 J A建物更生共済に加入
- ☐ 5 J F生活総合共済「暮らし」に加入
- ☐ 6 自然災害保障付火災共済、自然災害共済（全労災、自治労共済など）に加入
- ☐ 7 地震による被害を補償するその他の共済に加入

＜その他＞※「地震による被害を補償しない共済のみに加入」については、上記＜地震による被害を補償する共済＞の選択肢4～7のいずれも選択していない場合のみ、お選びいただけます。

- ☐ 8 地震による被害を補償しない共済のみに加入（火災共済、風水害等給付金付火災共済等）
- ☐ 9 損害保険や共済には加入していない

付録2 本調査 調査票

Q16

あなたが、住居建物を購入とした場合、立地条件として次のどれを優先しますか。
優先度の高い順に最大5つまで選んでください。

【1位まで必須】

≡ 順位回答（5位まで）

★ 必須回答（1位まで）

▲ 設問文を折りたたむ

1位から順番に選択肢をクリックしてください。

※クリックすると選択肢の上に順位の数字が表示されます。

※再回答する場合には、回答し直したい順位の選択肢を再度クリックしてください。

交通の便や通勤時間

土地や建物の価格

街並み

地震や火山のリスク（津波、液状化等を含む）

雪や台風リスク（洪水、高潮等を含む）

子供の学区や教育上の配慮等

親など親類との距離

治安

治療・療養に向いた地

自然環境

日当たり

眺望

土地勘がある

その他

わからない

回答条件：持ち家にお住まいの方（Q8=1-3）

Q17

ここからは、あなたが現在住んでいる「住居建物」について、お伺いします。
あなたの住んでいる住居建物を取得した方法をお答えください。

⊙ 単一回答

★ 必須回答

設問文を折りたたむ

- ① 新築分譲住宅を購入
- ② 新築注文住宅を購入（建て替えを含む）
- ③ 中古住宅を購入
- ④ 親からの相続、贈与
- ⑤ その他
- ⑥ わからない・答えたくない

Q18

ここからは、あなたが現在住んでいる「住居建物」について、お伺いします。あなたの住んでいる住居建物の種類をお答えください。

※マンション等にお住まいで、業務使用の部分はなく、住民専用の集会室等の共有スペースがある場合は、「専用住宅」を選択してください。

※マンション等にお住まいで、例えば、建物の1階部分に店舗等がある場合は、「併用住宅」を選択してください。

⊙ 単一回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ① 専用住宅（居住の目的のためだけに建てられた住宅。店舗、作業場、事務所など業務に使用するための部分がない住宅）
- ② 併用住宅（居住部分の他に、店舗、作業場、事務所など業務に使用するための部分がある住宅）

回答条件：長屋建もしくは共同住宅にお住まいの方（Q8=2/3/5/6）

Q19

あなたは何階建ての建物の何階にお住まいですか。

地上階数と地下階数に分けてお答えください。

また、該当する階数がない場合は「0」でお答えください。

※居住階数について、メソネットタイプなど複数階を使ってお住まいの方は、最も滞在時間の長い階をお答えください。

※居住階数について、地上と地下いずれかのみ回答してください（該当しない方は「0」とお答えください）。

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

建物階数は・・・ 地上 階建て
地下 階建て

居住階数は・・・ 地上 階部分に居住
地下 階部分に居住

回答条件：一戸建にお住まいの方（Q8=1/4）

Q20

あなたの家は何階建てですか。

地上階数と地下階数に分けてお答えください。

なお、該当する階数がない場合は「0」でお答えください。

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

地上 階建て
地下 階建て

回答条件：地上階数が2階以上もしくは地下階数が1階以上の建物にお住まいの方（Q19S1 $\geq$ 2 or Q19S2 $\geq$ 1 or Q20S1 $\geq$ 2 or Q20S2 $\geq$ 1）

Q21

あなたの住んでいる住居建物にエレベーターはありますか。

⊙ 単一回答

★ 必須回答

① ある

② ない

Q22

あなたの住んでいる住居建物の1階部分について、あてはまるものを1つお答えください。

(参考) 1階の一部分が壁で囲われており、残りの部分は建物を支える柱だけの空間



出典：国土交通省「マンション耐震化マニュアル」平成26年7月再改定

⓪ 単一回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1階全体が壁で囲われている
- ☐ 1階部分に壁はなく、建物を支える柱だけの空間
- ☐ 1階の一部分が壁で囲われており、残りの部分は建物を支える柱だけの空間（上図参照）

Q23

あなたの住んでいる住居建物の1階部分はどのように使われていますか。
該当する項目をすべてお答えください。

※建物の外側にある、建物以外の敷地部分等は含まずにお答えください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

1 住居

2 駐車スペース

3 自転車置き場

4 店舗

表示条件：Q18=2

5 事務所

表示条件：Q18=2

6 その他

回答条件：一戸建もしくは長屋建にお住まいの方（Q8=1/2/4/5）

Q24

あなたの家の屋根の種類をお答えください。

⓪ 単一回答

★ 必須回答

① 瓦（土葺き）

② 瓦（土なし）

③ 金属板

④ スレート（主にセメントや繊維材を混ぜて固めた薄い板状の屋根材を指します。）

⑤ コンクリート

⑥ 木

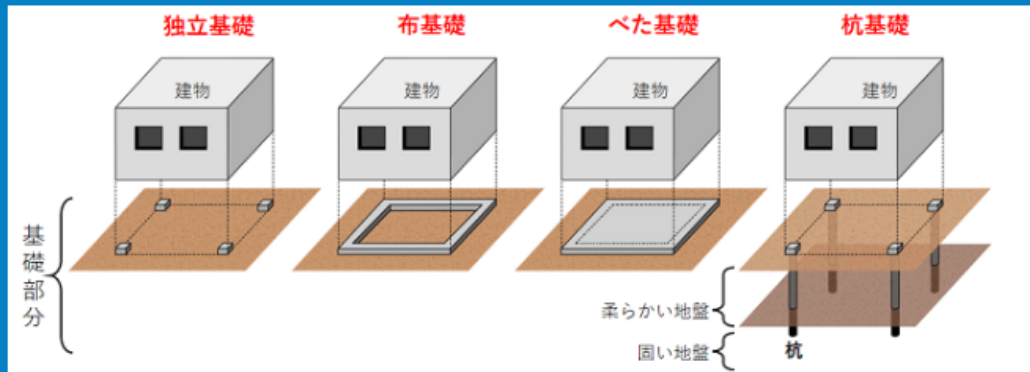
⑦ その他

⑧ わからない

回答条件：一戸建もしくは長屋建にお住まいの方（Q8=1/2/4/5）

Q25

あなたの家の基礎の種類をお答えください。



⓪ 単一回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

① 独立基礎（玉石など）

② 布基礎（コンクリート、ブロックなど）

③ べた基礎

④ 高基礎（通常の基礎の高さは30～45cm程度だが、それよりも高さのある基礎。基礎部分の空間は、床下収納スペースや車庫として利用されることが多い。）

⑤ 杭基礎

⑥ その他

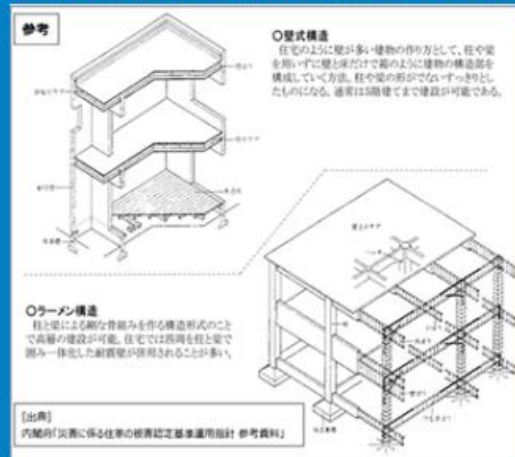
⑦ わからない

回答条件：共同住宅、かつ鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造にお住まいの方（Q8=3/6 & Q9=6）

Q26

あなたの住んでいる共同住宅（鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造）の構造形式をお答えください。
（下図を参考にしてください。）

▼画像をクリックして、表示される画像をご覧ください。▼



⊙ 単一回答 ★ 必須回答

↓ 設問文を折りたたむ

- ① 壁式構造
- ② ラーメン構造
- ③ わからない

Q27

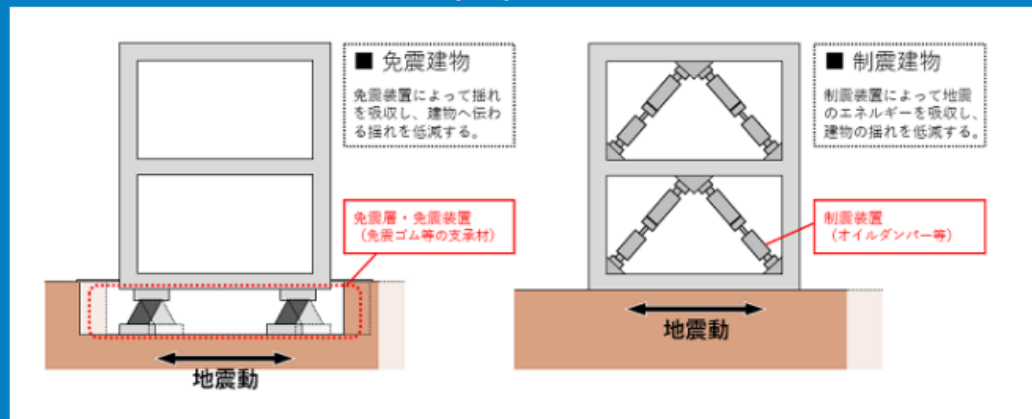
あなたの住んでいる住居建物を建築または選ばれる際、耐震性をどの程度お考えになりましたか。

⊙ 単一回答 ★ 必須回答

- ① 耐震性が高いことをとても重視した
- ② 耐震性が高いことをある程度考えた
- ③ 耐震性についてはあまり考えなかった
- ④ 耐震性については全く考えなかった

Q28

あなたの住んでいる住居建物に免震装置、制震(制振)装置はついていますか。



⓪ 単一回答

★ 必須回答

↓ 設問文を折りたたむ

- ① 免震装置、制震(制振)装置の両方がついている
- ② 免震装置のみがついている
- ③ 制震(制振)装置のみがついている
- ④ 免震装置、制震(制振)装置ともついていない
- ⑤ わからない

回答条件：持ち家にお住まいの方（Q8=1-3）

Q29

ここからは、あなたが現在お住まいの住居建物の「耐震性」について、お伺いします。
あなたが住んでいる住居建物について、耐震診断を受けたことはありますか。
受けたことのある方は、受けた理由（きっかけ）についてお答えください。
（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1 住まいの耐震性に不安があったから
- ☐ 2 知人に勧められたから
- ☐ 3 建築業者に勧められたから
- ☐ 4 自治体から啓発（戸別訪問など）があったから
- ☐ 5 耐震診断の費用が無料だったから
- ☐ 6 住まいのリフォーム工事（増改築や改修工事）を行う機会（予定）があったから
- ☐ 7 その他の理由
- ☐ 8 耐震診断を受けたことはない

回答条件：耐震診断を受けたことがある方（Q29=1-7）

Q30

あなたが耐震診断を受けた際の、結果についてお答えください。
※複数回受けたことがある方は、最も最近の結果についてお答えください。

◎ 単一回答

★ 必須回答

設問文を折りたたむ

- ☐ ① 耐震性が確保されていた
- ☐ ② 耐震性が確保されていなかった
- ☐ ③ 覚えていない・わからない

回答条件：持ち家にお住まいの方（Q8=1-3）

Q31

あなたの住んでいる住居建物は耐震改修工事・耐震補強工事を行いましたか。
行った場合は工事内容について、該当する項目すべてをお選びください。
（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答 ★ 必須回答

↓ 設問文を折りたたむ

<耐震改修工事・耐震補強工事をした>

- ☐ 1 壁の新設・補強
- ☐ 2 筋かい・ブレースによる補強（柱と柱の間に部材を斜めに入れて建物の構造を補強）
- ☐ 3 基礎の補強
- ☐ 4 金具による補強
- ☐ 5 その他の工事

<耐震改修工事をしていない>

- ☐ 6 工事をしていない

<その他>

- ☐ 7 わからない

回答条件：耐震改修工事・耐震補強工事を行った方（Q31=1-5）

Q32

耐震改修工事・耐震補強工事をした理由（きっかけ）は何ですか。
（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答 ★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1 耐震診断を受けて、耐震改修が必要と判断されたから
- ☐ 2 耐震改修費用の助成があったから
- ☐ 3 住まいのリフォーム工事（増改築や改修工事）を行う機会（予定）があったから
- ☐ 4 その他

表示条件：Q29=1-7

回答条件：耐震改修工事・耐震補強工事を行った方（Q31=1-5）

Q33

耐震改修工事・耐震補強工事をした結果、住居建物の耐震性は確保されましたか。

☐ 単一回答 ☒ 必須回答

- ☐ ① 建物全体で耐震性が確保された
- ☐ ② 建物の一部（の部屋）のみ耐震性が確保された
- ☐ ③ わからない

回答条件：耐震改修工事・耐震補強工事を行った方（Q31=1-5）

Q34

耐震改修工事・耐震補強工事をした際、お住まいのリフォーム工事（増改築や改修工事）も同時に行いましたか。

☐ 単一回答 ☒ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ ① 耐震改修工事・耐震補強工事とリフォーム工事を同時に行った
- ☐ ② 耐震改修工事・耐震補強工事のみ行った

回答条件：持ち家にお住まいの方（Q8=1-3）

Q35

あなたの住んでいる住居建物は増築工事（建物の階数を増やしたり、部屋数を増やすなどの工事）や改築工事（間取りの変更や水廻りの配置を変える工事など）を行いましたか。
ただし、耐震改修工事・耐震補強工事を除いてお答えください。

☐ 単一回答 ☒ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ ① 増築工事のみをした
- ☐ ② 改築工事のみをした
- ☐ ③ 増築工事、改築工事の両方をした
- ☐ ④ 工事をしていない
- ☐ ⑤ わからない

Q36

ここからは、「地震保険」についてお伺いします。
あなたは、「地震保険」をどの程度知っていますか。

☐ 単一回答 ☒ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ ① 補償内容をよく知っている
- ☐ ② 補償内容をだいたい知っている
- ☐ ③ 名称を見聞きしたことがある程度
- ☐ ④ 今までに見聞きしたことはない

回答条件：地震保険を知っている方（Q36=1-3）

Q37

あなたが、「地震保険」を知ったきっかけは何ですか。
（いくつでも選んでください）

☒ 複数回答 ☒ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ ① テレビまたはラジオのCM・番組
- ☐ ② 新聞または雑誌の広告・記事、ポスター
- ☐ ③ 地震災害の報道
- ☐ ④ 損害保険会社（代理店）の人の話
- ☐ ⑤ 周囲の人の話
- ☐ ⑥ 住宅購入・入居時の関係者（不動産・銀行等）の話
- ☐ ⑦ 保険のパンフレット等
- ☐ ⑧ 年末調整の用紙に地震保険料控除制度の記載があった
- ☐ ⑨ 学校の授業
- ☐ ⑩ 資格試験等
- ☐ ⑪ 関係する業務に従事している
- ☐ ⑫ その他
- ☐ ⑬ わからない・覚えていない

回答条件：住居建物や家財に対する地震保険に加入していない方（Q14≠1-2 & Q15≠1-2）

Q38

あなたは、「地震保険」への加入を検討したことがありますか。

※あなたが自身が検討に加わっていない場合も、あなたのお住まいについてお答えください。

⊙ 単一回答

★ 必須回答

↓ 設問文を折りたたむ

- ① 現在加入していないが、以前加入していた
- ② 加入したことはないが、現在検討している
- ③ 加入したことはないが、過去に検討したことがある（現在は検討していない）
- ④ 検討したことはない

回答条件：地震保険の加入を検討したことがある方（Q38=1-3）

Q39

地震保険の加入を検討したのはどんなときでしたか。
（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答

★ 必須回答

↓ 設問文を折りたたむ

- ① 住居建物の購入・入居やリフォーム時に関係者（不動産・銀行等）に加入を勧められたとき
- ② 火災保険を契約したとき（契約を更新したとき、商品や保険会社を切り替えたときも含む）
- ③ 地震災害の報道を見たとき
- ④ テレビのCMや雑誌、インターネット等の広告等を見たとき
- ⑤ 周囲の人の話を聞いて
- ⑥ 損害保険会社（代理店）から送られたチラシ等を見たとき
- ⑦ 地震により被害を受けて
- ⑧ 家族構成や同居人の数が変わったとき
- ⑨ 所得税・住民税に関する地震保険料控除制度を知ったとき
- ⑩ わからない・覚えていない

回答条件：住居建物に対する地震保険に加入している方（Q14=1-2）

Q40

現在、「住居建物」を対象とした地震保険に、加入していると回答された方にお伺いします。

「住居建物」を対象とした地震保険に加入した理由（きっかけ）は何ですか。

（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1 住居建物の購入やリフォーム、賃貸契約時に不動産関係者等に加入を勧められたから
- ☐ 2 住居建物の購入やリフォーム時に金融機関に加入を勧められたから
- ☐ 3 火災保険とセットで契約したから
- ☐ 4 家財の地震保険とセットで契約したから
- ☐ 5 住居建物の耐震性に不安を持っていたから
- ☐ 6 住居建物の融資（住宅ローン）を受けた、または返済中だから
- ☐ 7 地震による被害が心配だから
- ☐ 8 地震災害の報道を見て
- ☐ 9 住んでいる地域に地震が起きる可能性が高いと思うから
- ☐ 10 自分自身または身近な人が地震により被害を受けたから
- ☐ 11 保険料が負担可能な金額だったから
- ☐ 12 保険料の割引が受けられたから
- ☐ 13 所得税・住民税に関する地震保険料控除制度があったから
- ☐ 14 政府が関与している保険制度であり安心感があるから
- ☐ 15 知人から加入を勧められたから
- ☐ 16 地震保険の広報（テレビやラジオのCM・番組、新聞や雑誌の広告・記事、ポスター）を見たから
- ☐ 17 住宅情報誌・サイトで地震保険に関する情報を見たから
- ☐ 18 家族構成や同居人数が変化したから
- ☐ 19 その他

回答条件：住居建物に対する地震保険に加入しておらず、住居建物の保険や共済の加入状況を知っている方（Q14 ≠1-2 & Q12=1）

Q41

現在、「住居建物」を対象とした地震保険に、加入していないと回答された方にお伺いします。

「住居建物」を対象とした地震保険に加入していない理由は何ですか。

（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- | | | |
|-------|--|--------------|
| 1 | 地震被害を補償する火災共済等に加入しているから | 表示条件：Q14=4-7 |
| <hr/> | | |
| 2 | 住居建物の耐震性（免震・制震を含む）は十分高いから | |
| <hr/> | | |
| 3 | 住居建物が新しいから | |
| <hr/> | | |
| 4 | いざとなれば預金等で何とかなると思うから | |
| <hr/> | | |
| 5 | 住居建物の融資（住宅ローン）の返済が終わっているから | |
| <hr/> | | |
| 6 | 地震で被災することはないと思うから | |
| <hr/> | | |
| 7 | 大地震の時は何らかの公的支援が期待できるから | |
| <hr/> | | |
| 8 | 賃貸住宅に住んでいるから | |
| <hr/> | | |
| 9 | 大地震の時は義援金（義捐金）が期待できるから | |
| <hr/> | | |
| 10 | 地震保険では最高で住居建物の再築に必要な額の50%（5,000万円限度）までしか補償されないから | |
| <hr/> | | |
| 11 | 住居建物と家財の両方に加入すると保険料が高くなるから | |
| <hr/> | | |
| 12 | 具体的な保険料まではわからないが、保険料が高いイメージがあったから | |
| <hr/> | | |
| 13 | 具体的な保険料を見た、または計算した結果、保険料が高かったから | |
| <hr/> | | |
| 14 | 加入の方法（手続き）がわからないから | |
| <hr/> | | |
| 15 | 加入の機会や勧誘等がなかったから | |
| <hr/> | | |
| 16 | 保険の内容がわかりにくかったから | |
| <hr/> | | |
| 17 | その他 <input type="text"/> | |

回答条件：住居建物の地震被害を補償する火災共済等に参加されている方（Q41=1）

Q42

「地震被害を補償する火災共済等に参加しているから」と回答された方にお伺いします。

「地震被害を補償する火災共済等」に参加した理由（きっかけ）は何ですか。

（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1 住居建物の購入やリフォーム、賃貸契約時に不動産関係者等に参加を勧められたから
- ☐ 2 住居建物の購入やリフォーム時に金融機関に参加を勧められたから
- ☐ 3 仕事（農業・漁業等）で使う建物が補償の対象になるから
- ☐ 4 満期共済金など貯蓄性があるため
- ☐ 5 火災共済とセットで契約したから
- ☐ 6 家財の被害を補償する共済とセットで契約したから
- ☐ 7 住居建物の耐震性に不安を持っていたから
- ☐ 8 住居建物の融資（住宅ローン）を受けた、または返済中だから
- ☐ 9 地震による被害が心配だから
- ☐ 10 地震災害の報道を見て
- ☐ 11 住んでいる地域に地震が起きる可能性が高いと思うから
- ☐ 12 自分自身または身近な人が地震により被害を受けたから
- ☐ 13 掛金が負担可能な金額だったから
- ☐ 14 知人から参加を勧められたから
- ☐ 15 共済の広報（テレビやラジオのCM・番組、新聞や雑誌の広告・記事、ポスター）を見たから
- ☐ 16 その他

回答条件：家財に対する地震保険に加入している方（Q15=1-2）

Q43

現在、「家財」を対象とした地震保険に、加入していると回答された方にお伺いします。

「家財」を対象とした地震保険に加入した理由（きっかけ）は何ですか。
（いくつでも選んでください）

▼ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

1 住居建物の購入やリフォーム、賃貸契約時に不動産関係者等に加入を勧められたから

2 住居建物の購入やリフォーム時に金融機関に加入を勧められたから

3 火災保険とセットで契約したから

4 住居建物の地震保険とセットで契約したから

表示条件：Q8≠4-6

5 住居建物の耐震性に不安を持っていたから

6 地震による被害が心配だから

7 地震災害の報道を見て

8 住んでいる地域に地震が起きる可能性が高いと思うから

9 自分自身または身近な人が地震により被害を受けたから

10 保険料が負担可能な金額だったから

11 保険料の割引が受けられたから

12 所得税・住民税に関する地震保険料控除制度があったから

13 政府が関与している保険制度であり安心感があるから

14 知人から加入を勧められたから

15 地震保険の広報（テレビやラジオのCM・番組、新聞や雑誌の広告・記事、ポスター）を見たから

16 住宅情報誌・サイトで地震保険に関する情報を見たから

17 賃貸住宅や社宅等の入居条件だったから

18 その他

回答条件：家財に対する地震保険に加入しておらず、家財の保険や共済の加入状況を知っている方（Q15≠1-2 & Q13=1orQ12=1）

Q44

現在、「家財」を対象とした地震保険に、加入していないと回答された方にお伺いします。

「家財」を対象とした地震保険に加入していない理由は何ですか。

（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答

★ 必須回答

↓ 設問文を折りたたむ

- | | | |
|-----------------------------|---|-------------------------|
| ☐ 1 | 地震被害を補償する火災共済等に加入しているから | 表示条件：Q14=4-7 or Q15=4-7 |
| ☐ 2 | 住居建物の耐震性（免震・制震を含む）は十分高いから | |
| ☐ 3 | 住居建物が新しいから | |
| ☐ 4 | いざとなれば預金等で何とかなると思うから | |
| ☐ 5 | 家具類の固定（転倒防止）を行っているから | |
| ☐ 6 | 地震で被災することはないと思うから | |
| ☐ 7 | 大地震の時は何らかの公的支援が期待できるから | |
| ☐ 8 | 大地震の時は義援金（義捐金）が期待できるから | |
| ☐ 9 | 地震保険では最高で家財の再購入に必要な額の50%（1,000万円限度）までしか補償されないから | |
| ☐ 10 | 住居建物と家財の両方に加入すると保険料が高くなるから | 表示条件：Q8≠4-6 |
| ☐ 11 | 具体的な保険料まではわからないが、保険料が高いイメージがあったから | |
| ☐ 12 | 具体的な保険料を見た、または計算した結果、保険料が高かったから | |
| ☐ 13 | 加入の方法（手続き）がわからないから | |
| ☐ 14 | 加入の機会や勧誘等がなかったから | |
| ☐ 15 | 保険の内容がわかりにくかったから | |
| ☐ 16 | 家財は消耗品と考えているから | |
| ☐ 17 | その他 <input type="text"/> | |

回答条件：家財の地震被害を補償する火災共済等に参加されている方（Q44=1）

Q45

「地震被害を補償する火災共済等に参加しているから」と回答された方にお伺いします。
「地震被害を補償する火災共済等」に参加した理由（きっかけ）は何ですか。
（いくつでも選んでください）

✔ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1 住居建物の購入やリフォーム、賃貸契約時に不動産関係者等に参加を勧められたから
- ☐ 2 住居建物の購入やリフォーム時に金融機関に参加を勧められたから
- ☐ 3 仕事（農業・漁業等）で使う道具等が補償の対象になるから
- ☐ 4 満期共済金など貯蓄性があるため
- ☐ 5 火災共済とセットで契約したから
- ☐ 6 住居建物の被害を補償する共済とセットで契約したから
- ☐ 7 住居建物の耐震性に不安を持っていたから
- ☐ 8 地震による被害が心配だから
- ☐ 9 地震災害の報道を見て
- ☐ 10 住んでいる地域に地震が起きる可能性が高いと思うから
- ☐ 11 自分自身または身近な人が地震により被害を受けたから
- ☐ 12 掛金が負担可能な金額だったから
- ☐ 13 知人から参加を勧められたから
- ☐ 14 共済の広報（テレビやラジオのCM・番組、新聞や雑誌の広告・記事、ポスター）を見たから
- ☐ 15 賃貸住宅や社宅等の入居条件だったから
- ☐ 16 その他

回答条件：金融機関に勧められて地震保険や地震被害を補償する火災共済等に参加した方（Q40=2 or Q42=2 or Q43=2 Q45=2）

Q46

地震保険や、地震被害を補償する火災共済等への加入理由について「金融機関に参加を勧められたから」と回答された方にお伺いします。

その際、きっかけとなった金融機関についてお答えください。

（いくつでも選んでください）

▼ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

☐ 1 都市銀行（いわゆるメガバンク）

☐ 2 信託銀行

☐ 3 その他銀行（例：ネット銀行等）

☐ 4 地方銀行（第二地方銀行を含む）

☐ 5 信用金庫

☐ 6 信用組合

☐ 7 労働金庫

☐ 8 農業協同組合・漁業協同組合

☐ 9 その他（具体的な金融機関名をご回答ください）

回答条件：住居建物や家財に対する地震保険を加入している方（Q14=1-2 or Q15=1-2）

Q47

地震保険料の割引を受けていますか。

⊙ 単一回答 ★ 必須回答

- ① 免震建築物割引
- ② 耐震等級割引（耐震等級1、10%割引）
- ③ 耐震等級割引（耐震等級2、30%割引）
- ④ 耐震等級割引（耐震等級3、50%割引）
- ⑤ 耐震診断割引
- ⑥ 建築年割引
- ⑦ （上記の）割引を受けていない
- ⑧ わからない

回答条件：住居建物や家財に対する地震保険を加入している方（Q14=1-2 or Q15=1-2）

Q48

あなたは、今後も「地震保険」を継続したいと思いますか。

⊙ 単一回答 ★ 必須回答

- ① 継続したい
- ② まあ継続したい
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり継続したくない
- ⑤ 継続したくない

回答条件：地震保険を継続したくない方（Q48=4-5）

Q49

「地震保険」を継続したくない理由をお聞かせください。
(いくつでも選んでください)

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1 保険料の負担が大きいため
- ☐ 2 保険料が掛け捨てだから
- ☐ 3 加入後、一度も地震被害を受けていないから
- ☐ 4 再建費用の全てを賄うことができないから
- ☐ 5 地域や構造によって料率が違うことに不公平を感じるから
- ☐ 6 その他

回答条件：持ち家の共同住宅にお住まいの方（Q8=3）

Q50

ここからは、「共同住宅（マンション等）」にお住まいの方に、共用部分の地震保険についてお伺いします。
お住まいの共同住宅（マンション等）の管理組合は、共用部分を対象とした地震保険に加入していますか。

◎ 単一回答

★ 必須回答

↓ 設問文を折りたたむ

- ☐ ① 加入している
- ☐ ② 加入していない（加入予定あり・検討中）
- ☐ ③ 加入していない（加入予定なし）
- ☐ ④ わからない

回答条件：お住まいの共同住宅の管理組合が共用部分を対象とした地震保険に加入している方（Q50=1）

Q51

お住まいの共同住宅（マンション等）の管理組合が共用部分を対象とした地震保険に加入した理由（きっかけ）は何ですか。

（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1 管理会社から提案を受けたから
- ☐ 2 不動産業者、銀行等に加入を勧められたから
- ☐ 3 火災保険とセットで契約したから
- ☐ 4 共同住宅（マンション等）の耐震性に不安を持っていたから
- ☐ 5 購入時に融資（住宅ローン）を受けた、または返済中の居住者が多いから
- ☐ 6 自分自身または身近な人が地震により被害を受けたから
- ☐ 7 保険料が負担可能な金額だったから
- ☐ 8 保険料の割引が受けられたから
- ☐ 9 政府が関与している保険制度であり安心感があるから
- ☐ 10 管理組合で加入が決定されたから
- ☐ 11 わからない／入居時には既に加入していた

回答条件：お住まいの共同住宅の管理組合が共用部分を対象とした地震保険に加入していない方（Q50=2-3）

Q52

共同住宅（マンション等）の共有部分は地震保険に加入していないとお答えになった方に伺います。

現状で加入していない理由をお聞かせください。

（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1 地震被害を補償する火災共済等に加入しているから
- ☐ 2 住居建物の耐震性（免震・制震を含む）は十分高いから
- ☐ 3 住居建物が新しいから
- ☐ 4 地震で被災することはないと思うから
- ☐ 5 大地震の時は何らかの公的支援が期待できるから
- ☐ 6 被害があっても査定基準を満たさず支払われない場合があると聞いたことがあるから
- ☐ 7 地震保険では共有部分の再建費用の全てを賄うことができないから
- ☐ 8 具体的な保険料まではわからないが、保険料が高いイメージがあったから
- ☐ 9 具体的な保険料を見た、または計算した結果、保険料が高かったから
- ☐ 10 加入の方法（手続き）がわからないから
- ☐ 11 加入の機会や勧誘等がなかったから
- ☐ 12 保険の内容がわかりにくかったから
- ☐ 13 管理組合で同意が得られなかったから
- ☐ 14 わからない

Q53

ここからは、あなたご自身の、過去の地震被災経験についてお伺いします。

あなたは今までに、**地震で**、そのとき住んでいた住居建物または家財に被害を受けた経験がありますか。
経験がある場合、どのような被害を受けましたか。

(いくつでも選んでください)

※2回以上の被災経験がある場合は、その中で一番大きな被害を受けた地震の際についてお答えください。

▼ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1 住居建物または家財に被害を受けたことはない
- ☐ 2 住居建物の揺れによる倒壊・破損（壁や柱のひび割れ、窓、屋根、瓦、基礎の破損等を含む）
- ☐ 3 住居建物の火災（自宅からの出火と近隣からの延焼を問わない）
- ☐ 4 住居建物の液状化による被害
- ☐ 5 住居建物の土砂崩れ・崖崩れによる倒壊・破損
- ☐ 6 住居建物の津波による流出・浸水
- ☐ 7 家財の破損

回答条件：住居建物や家財に地震被害を受けたことがある方（Q53≠1）

Q54

過去に地震保険の保険金支払を受けたことがある方は、地震保険が役立ったエピソードについて記載してください。

（エピソードに関しては、今後、加入促進のための広告等において、無記名で掲載させていただく可能性があります。）

特にない場合は「なし」と記載してください。

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

回答条件：住居建物や家財に地震被害を受けたことがある方（Q53≠1）

Q55

前問で、「過去に地震保険の保険金支払を受けたことがある」と答えた方にお伺いします。

その際の、被災時の「住居建物」の被害の復旧（再建・修繕）に要した費用はどの程度ですか。

※2回以上の被災経験がある場合は、その中で一番大きな被害を受けた地震の際についてお答えください。

※住居建物の復旧のための費用についてのみ、お答えください。（家財のための費用は含めずにお選びください）

⊙ 単一回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 50万円未満
- ☐ 50万～200万円未満
- ☐ 200万～500万円未満
- ☐ 500万～1,000万円未満
- ☐ 1,000万～2,000万円未満
- ☐ 2,000万円以上
- ☐ わからない

回答条件：家財に地震被害を受けたことがある方（Q53=7）

Q56

前問で、「過去に地震で家財に被害を受けたことがある」と答えた方にお伺いします。

その際の、被災時の「家財」の被害の復旧（購入・修理）に要した費用はどの程度ですか。

※2回以上の被災経験がある場合は、その中で一番大きな被害を受けた地震の際についてお答えください。

※家財の復旧のための費用についてのみ、お答えください。（住居建物のための費用は含めずにお選びください）

⊙ 単一回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 10万円未満
- ☐ 10万～30万円未満
- ☐ 30万～50万円未満
- ☐ 50万～100万円未満
- ☐ 100万～200万円未満
- ☐ 200万円以上
- ☐ わからない

Q57

ここからは、あなたご自身の震災に対する備えや、今後の震災予測についてお伺いします。
大地震に対する備えとして、あなた（あなたの世帯）が今までに行ったこと、あるいは、現在、行っていることは何ですか。

今後、予定していることも含めてお答えください。

（いくつでも選んでください）

✓ 複数回答

★ 必須回答

↓ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1 土地や住居建物の購入または入居時に地盤や地形を考慮した（する）
- ☐ 2 住居建物の建築・購入または入居時に建物の構造・工法を考慮した（する）（耐震構造等）
- ☐ 3 住居建物の耐震診断を受けた（する）
- ☐ 4 住居建物の耐震改修(補強)工事をした（する）
- ☐ 5 地盤改良をした（する）
- ☐ 6 家具類の固定による転倒防止措置や配置変更を行った（行う）
- ☐ 7 自家発電機等を設置した（する）
- ☐ 8 緊急時の家族との連絡方法や避難先を確認した（する）
- ☐ 9 非常持ち出し品を準備した（する）
- ☐ 10 防災グッズ（非常用食料、飲料水、非常灯等）を購入または拡充した（する）
- ☐ 11 預貯金をした（する）
- ☐ 12 ハザードマップを確認した（する）
- ☐ 13 避難場所を確認した（する）
- ☐ 14 災害ダイヤルに登録した（する）
- ☐ 15 防災訓練や防災講演会に参加した（する）
- ☐ 16 地震保険または地震被害を補償する共済へ加入した（する）
- ☐ 17 引越をした（する）
- ☐ 18 その他
- ☐ 19 何も行っておらず、今後の予定もない

Q58

近い将来、あなたが住んでいる地域で大地震が起こると思いますか。

Ⓐ 単一回答

★ 必須回答

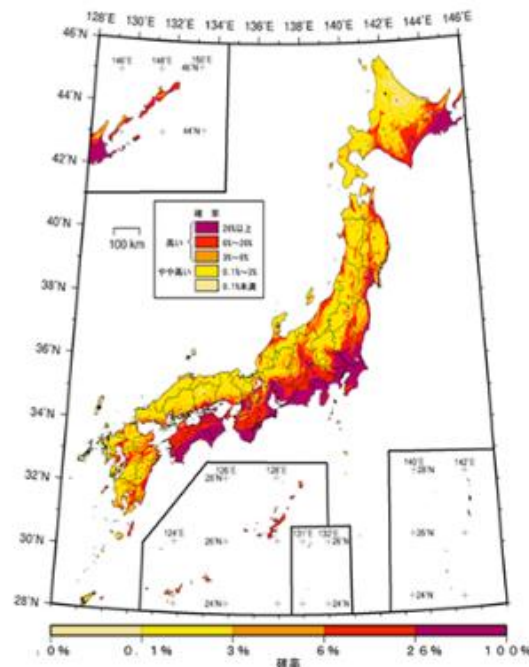
- ① 起こると思う
- ② もしかしたら起こると思う
- ③ おそらく起こらないと思う
- ④ 起こらないと思う
- ⑤ どちらとも言えない・わからない

続いての質問は、政府の地震調査研究推進本部が公表している「確率論的地震動予測地図」（今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率を示す図）について、お伺いします。

まず、以下の「確率論的地震動予測地図」の画像をご確認ください。

ご確認くださいましたら、「次へ」のボタンを押し、設問へお進みください。

▼画像をクリックして、表示される画像をご覧ください。 ▼



確率論的地震動予測地図（基準日：2020年1月1日）
2020年から今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率
※出典：地震調査研究推進本部ウェブサイト

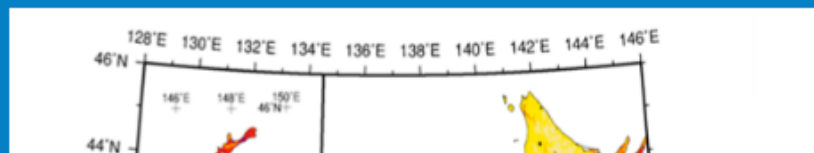
Q59

政府の地震調査研究推進本部が公表している、「確率論的地震動予測地図」（今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率を示す図）を

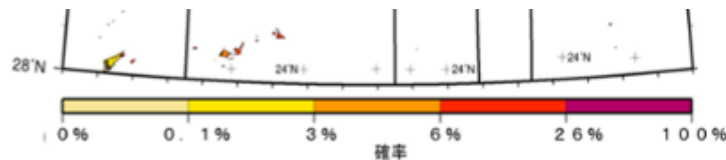
ご覧になって、あなたが住んでいる地域の地震危険度は、どのように思いますか。
次のうち一番近い感想をお答えください。

※下記の画像は、先程、ご覧いただいたものと同じ画像となります。

▼ 画像をクリックしていただくと、拡大してご覧いただけます。 ▼



画像中略



確率論的地震動予測地図（基準日：2020年1月1日）

2020年から今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率

※出典：地震調査研究推進本部ウェブサイト

⊙ 単一回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- ① 地震により震度6弱以上の揺れに見舞われる確率は低いと思う
- ② 地震により震度6弱以上の揺れに見舞われる確率は高いと思う
- ③ 地震により震度6弱以上の揺れに見舞われる確率は妥当だと思う
- ④ 地域によって差がありすぎると思う
- ⑤ 確率表示ではよくわからない
- ⑥ 判断できない
- ⑦ その他

Q60

仮に、あなたの住んでいる地域で大地震が起こった場合に、あなたの住居建物の立地状況や、家財の地震対策状況などを考えると、どのような被害が発生すると思いますか。
住居建物と家財のそれぞれの被害が発生する可能性について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

(例)

- ・埋立地に居住しているため、「地盤の被害（崩落、液状化等）」が「発生する可能性が極めて高い」
 - ・住宅が密集している地域に居住しているため、「近隣の住宅・施設からの延焼」が「発生する可能性が極めて高い」
 - ・内陸の丘陵地帯に居住しているため、「津波による浸水・流失」が「発生しないと思う」
 - ・家具の固定を行っていないため、「移動・転倒・落下による損壊」が「発生する可能性が高い」
 - ・雪国に居住しており、暖房器具や燃料が多く、使用期間も長いため、「ストーブやコンロ、電化製品等からの出火・爆発」が「発生する可能性が高い」
- など

Ⓢ 単一回答

★ 必須回答

↓ 設問文を折りたたむ

0/11

<住居建物>	
地面のゆれによる被害（変形、崩壊等）	▼
地盤の被害（崩落、液状化等）	▼
近くのがけ崩れによる土砂からの被害	▼
自宅からの出火	▼
近隣の住宅・施設からの延焼	▼
津波による浸水・流失	▼
河川・ダム等の堤防決壊による浸水・流失	▼
火山による被害	▲
☐ 被害が発生する可能性が極めて高い	
☐ 被害が発生する可能性が高い	
☐ 被害が発生する可能性が多少はある	
☐ 被害は発生しないと思う	
☐ どちらとも言えない・わからない	

<家財>	
移動・転倒・落下による損壊	▼
ストーブやコンロ、電化製品等からの出火・爆発	▼
建物の崩壊に伴う圧壊	▲

☐ 被害が発生する可能性が極めて高い
☐ 被害が発生する可能性が高い
☐ 被害が発生する可能性が多少はある
☐ 被害は発生しないと思う
☐ どちらとも言えない・わからない

Q61

あなたは、以下に挙げる地震保険および地震被害の支援制度に関することについて、ご存知ですか。
 それぞれについて、最もあてはまるものをお答えください。
 (それぞれ1つつ選んでください)

☉ 単一回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

0/14

火災保険では、地震による火災は補償されません	表示条件：Q36=1-3 ▼
地震保険は単独では加入できません。火災保険プラス地震保険の形で加入することになっています	表示条件：Q36=1-3 ▼
地震保険の契約金額は火災保険の契約金額の30～50%の範囲で設定することになっています	表示条件：Q36=1-3 ▼
地震保険の契約金額は建物については5,000万円、家財については1,000万円が限度となっています	表示条件：Q36=1-3 ▼
地震保険の保険料は「建物の構造」によって異なります	表示条件：Q36=1-3 ▼
地震保険の保険料は「地域」によって異なります	表示条件：Q36=1-3 ▲

☐ 知っている
☐ なんとなく知っている
☐ 知らない

建物の耐震性能や建築時期によって地震保険の保険料を10～50%割引くことができます	▼
表示条件：Q36=1-3	
保険金は、迅速な支払いのため、全損、大半損、小半損、一部損の4区分で支払われます（2016年12月31日以前の契約は全損、半損、一部損の3区分）	▼
表示条件：Q36=1-3	
地震保険の損害の判定は、建物の主要構造部（基礎、柱、はり、屋根、外壁など）の損害の大きさで判定されます	▼
表示条件：Q36=1-3	
地震保険は、「地震保険に関する法律」などに基づいて、政府と民間保険会社が協力して制度運営している保険制度です	▼
表示条件：Q36=1-3	
地震保険の保険料（料率）は、「地震保険に関する法律」に基づいて、できる限り低い水準に設定されており、保険会社の利潤は含まれていません	▼
表示条件：Q36=1-3	
2006年度分以降の所得税（個人住民税は2008年度分以降）から、地震保険料控除制度が実施され、最高で5万円（個人住民税は2万5千円）の控除が受けられます	▼
表示条件：Q36=1-3	
地震等の自然災害により著しい被害を受けた世帯に対し支援金を支給する「被災者生活再建支援制度」（「被災者生活再建支援法」に基づく国の制度）があります	▼
災害救助法適用の自然災害（政府によって激甚災害に指定された災害）で被災した場合、「被災ローン減免制度（自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン）」を利用することで、住宅ローンなどの借金を抱えた債務者は、債権者との合意に基づき、自己破産や民事再生などの法的な債務整理によらずに借金を整理することができます	▲

☐ 知っている

☐ なんとなく知っている

☐ 知らない

ここからは、現行（2022年10月1日実施）の地震保険の保険料について、お伺いします。
 まず、以下の地震保険料に関する「保険料例」の表をご確認ください。
 ご確認いただきましたら、「次へ」のボタンを押し、設問へお進みください。

▼画像をクリックして、表示される画像をご覧ください。 ▼

現行（2022年10月1日実施）の保険料例（一般地震、保険期間1年、割引適用なし、保険金額1,000万円あたり）

都道府県	構造	コンクリート造、鉄骨造、 準耐火建築物以上の耐火性能 を有する木造建築物等	左記以外 （一般的な木造、防火木造等）
北海道・青森県・岩手県・秋田県・山形県・栃木県・群馬県・ 新潟県・富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・滋賀県・ 京都府・兵庫県・奈良県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・ 山口県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・鹿児島県		7,300円	11,200円
宮城県・福島県・山梨県・愛知県・三重県・大阪府・和歌山県・ 香川県・愛媛県・宮崎県・沖縄県		11,600円	19,500円
茨城県・徳島県・高知県		23,000円	41,100円
埼玉県		26,500円	41,100円
千葉県・東京都・神奈川県・静岡県		27,500円	41,100円

下記のような保険料の割引制度があります。（それぞれの割引について重複して適用はされません）

- ・免震建築物の場合は50%割引
- ・住宅性能評価書における耐震等級1なら10%、2なら30%、3なら50%の割引
- ・耐震診断の結果、建築基準法に定める現行耐震基準に適合していることが確認されれば10%割引
- ・1981年6月以降に新築された住居建物なら10%割引

例えば、東京都のマンションで、契約金額1,000万円の地震保険に加入した場合、

割引がなければ1年間の保険料は27,500円になります。

1981年6月以降に新築のマンションであれば建築年割引が適用となり、保険料は24,800円となります。

Q62

再度、以下の地震保険に関する「保険料例」の表をご覧ください、
あなたのお住まいの都道府県と住居建物の構造が交わる区分の金額をご覧ください。

この表内の保険料は、住居建物や家財を対象として地震保険に加入した場合の契約金額1,000万円あたりの1年間の保険料となりますが、
地震保険料の印象について最もあてはまるものをお答えください。

▼ 画像をクリックしていただくと、拡大してご覧いただけます。 ▼

現行（2022年10月1日実施）の保険料例（一般地震、保険期間1年、割引適用なし、保険金額1,000万円あたり）

都道府県	構造	コンクリート造、鉄骨造、 準耐火建築物以上の耐火性能 を有する木造建築物等	左記以外 （一般的な木造、防火木造等）
北海道・青森県・岩手県・秋田県・山形県・栃木県・群馬県・ 新潟県・富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・滋賀県・ 京都府・兵庫県・奈良県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・ 山口県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・鹿児島県		7,300円	11,200円
宮城県・福島県・山梨県・愛知県・三重県・大阪府・和歌山県・ 香川県・愛媛県・宮崎県・沖縄県		11,600円	19,500円
茨城県・徳島県・高知県		23,000円	41,100円
埼玉県		26,500円	41,100円
千葉県・東京都・神奈川県・静岡県		27,500円	41,100円

下記のような保険料の割引制度があります。（それぞれの割引について重複して適用はされません）

- ・免震建築物の場合は50%割引
- ・住宅性能評価書における耐震等級1なら10%、2なら30%、3なら50%の割引
- ・耐震診断の結果、建築基準法に定める現行耐震基準に適合していることが確認されれば10%割引
- ・1981年6月以降に新築された住居建物なら10%割引

例えば、東京都のマンションで、契約金額1,000万円の地震保険に加入した場合、

割引がなければ1年間の保険料は27,500円になります。

1981年6月以降に新築のマンションであれば建築年割引が適用となり、保険料は24,800円となります。

◎ 単一回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

① 高い

② やや高い

③ 妥当である

④ やや安い

⑤ 安い

回答条件：地震保険の保険料を高いと思う方（Q62=1-2）

Q63

では、「保険料が高い」とお答えになった理由について、以下の中から、あてはまるものをすべてお答えください。

（いくつでも選んでください）

▼ 画像をクリックしていただくと、拡大してご覧いただけます。 ▼

現行（2022年10月1日実施）の保険料例（一般地震、保険期間1年、割引適用なし、保険金額1,000万円あたり）

都道府県	構造	コンクリート造、鉄骨造、準耐火建築物以上の耐火性能を有する木造建築物等	左記以外（一般的な木造、防火木造等）
北海道・青森県・岩手県・秋田県・山形県・栃木県・群馬県・新潟県・富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・滋賀県・京都府・兵庫県・奈良県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・鹿児島県		7,300円	11,200円
宮城県・福島県・山梨県・愛知県・三重県・大阪府・和歌山県・香川県・愛媛県・宮崎県・沖縄県		11,600円	19,500円
茨城県・徳島県・高知県		23,000円	41,100円
埼玉県		26,500円	41,100円
千葉県・東京都・神奈川県・静岡県		27,500円	41,100円

下記のような保険料の割引制度があります。（それぞれの割引について重複して適用はされません）

- ・免震建築物の場合は50%割引
- ・住宅性能評価書における耐震等級1なら10%、2なら30%、3なら50%の割引
- ・耐震診断の結果、建築基準法に定める現行耐震基準に適合していることが確認されれば10%割引
- ・1981年6月以降に新築された住居建物なら10%割引

例えば、東京都のマンションで、契約金額1,000万円の地震保険に加入した場合、

割引がなければ1年間の保険料は27,500円になります。

1981年6月以降に新築のマンションであれば建築年割引が適用となり、保険料は24,800円となります。

▼ 複数回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

- 1 契約金額（保険金額）の割には高い
- 2 最高で住居建物の再築に必要な額の50%までしか補償されない割に高い
- 3 滅多に発生しない地震による被害のみを補償するものとしては高い
- 4 火災保険（共済）と比較して高い
- 5 自動車保険（共済）や自賠責保険（共済）と比較して高い
- 6 生命保険（死亡保険）と比較して高い
- 7 生命保険（医療保険）と比較して高い
- 8 住居建物の耐震性が高いのに保険料が高い
- 9 火災保険とセットで加入しなければならないため高い
- 10 自分の居住地域が他の地域と比較して高い
- 11 その他

Q64

再度、以下の地震保険に関する「保険料例」の表をご覧ください。

あなたは、この表で2区分となっている保険料の構造区分、また、5区分となっている都道府県単位での保険料の地域区分について、どのように思いますか。

それぞれの区分について、最もあてはまるものをお答えください。

(それぞれ1つずつ選んでください)

▼ 画像をクリックしていただくと、拡大してご覧いただけます。 ▼

現行（2022年10月1日実施）の保険料例（一般地震、保険期間1年、割引適用なし、保険金額1,000万円あたり）

都道府県	構造	コンクリート造、鉄骨造、 準耐火建築物以上の耐火性能 を有する木造建築物等	左記以外 （一般的な木造、防火木造等）
北海道・青森県・岩手県・秋田県・山形県・栃木県・群馬県・ 新潟県・富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・滋賀県・ 京都府・兵庫県・奈良県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・ 山口県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・鹿児島県		7,300円	11,200円
宮城県・福島県・山梨県・愛知県・三重県・大阪府・和歌山県・ 香川県・愛媛県・宮崎県・沖縄県		11,600円	19,500円
茨城県・徳島県・高知県		23,000円	41,100円
埼玉県		26,500円	41,100円
千葉県・東京都・神奈川県・静岡県		27,500円	41,100円

下記のような保険料の割引制度があります。（それぞれの割引について重複して適用はされません）

- ・免震建築物の場合は50%割引
- ・住宅性能評価書における耐震等級1なら10%、2なら30%、3なら50%の割引
- ・耐震診断の結果、建築基準法に定める現行耐震基準に適合していることが確認されれば10%割引
- ・1981年6月以降に新築された住居建物なら10%割引

例えば、東京都のマンションで、契約金額1,000万円の地震保険に加入した場合、

割引がなければ1年間の保険料は27,500円になります。

1981年6月以降に新築のマンションであれば建築年割引が適用となり、保険料は24,800円となります。

◎ 単一回答

★ 必須回答

▲ 設問文を折りたたむ

0/2

保険料の構造2区分（上の表 横軸） ▼

保険料の地域5区分（上の表 縦軸） ▲

- ☐ リスクに応じてもっと細分化すべき
- ☐ 区分数を減らし、もっと単純化すべき
- ☐ 今のままでよい

Q65

再度、以下の地震保険に関する「保険料例」の表をご覧ください。

あなたは、この表で2区分となっている構造別の保険料の差、また、5区分となっている都道府県別での保険料の差、

さらに、表の下に記載の各割引制度による割引率の差について、どのように思いますか。

それぞれについて、最もあてはまるものをお答えください。

(それぞれ1つずつ選んでください)

▼ 画像をクリックしていただくと、拡大してご覧いただけます。 ▼

現行（2022年10月1日実施）の保険料例（一般地震、保険期間1年、割引適用なし、保険金額1,000万円あたり）

都道府県	構造	
	コンクリート造、鉄骨造、準耐火建築物以上の耐火性能を有する木造建築物等	左記以外（一般的な木造、防火木造等）

画像中略

例えば、東京都のマンションで、契約金額1,000万円の地震保険に加入した場合、

割引がなければ1年間の保険料は27,500円になります。

1981年6月以降に新築のマンションであれば建築年割引が適用となり、保険料は24,800円となります。

⊙ 単一回答

★ 必須回答

設問文を折りたたむ

0/3

構造別の保険料の差 ▼

都道府県別の保険料の差 ▼

各割引の割引率の差 ▲

- ☐ 差が大きい
- ☐ やや差が大きい
- ☐ 妥当である
- ☐ やや差が小さい
- ☐ 差が小さい
- ☐ わからない

消費者の地震危険意識と
住居建物属性の調査
(2024年調査)

2025年3月発行

発行 損害保険料率算出機構（損保料率機構）

〒163-1029 東京都新宿区西新宿 3－7－1

TEL 03-6758-1300（代表）

URL <https://www.giroj.or.jp>